

研究プロジェクト「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」  
Research Project: Asian Design Encyclopedia Project

実施期間： 2010～2012 年度（第 1 年次）

Term of the Project: 2010-2012 fiscal years (1<sup>st</sup> year)

研究代表者： 藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授

Project Leader: Dr. Haruhiko FUJITA, Project Representative on the IIAS Planning Board;  
Professor, The Graduate School of Letters, Osaka University

研究目的要旨：

21 世紀の世界の生産拠点であり、最大の消費地でもあるアジア地域は、工芸や生活文化など、長く豊かで、自然と調和的なデザインの伝統を有するにもかかわらず、その真価を域外から十分認められず、域内での認識や相互理解も不足している。内外の理解が深まり、広がることによって、アジアのデザインには世界的貢献が可能だが、短期的視点でのみ注目され、長期的観点からの文化的理解はまだ浅い。このような状況の克服を目指し、アジアのデザインを総合的に捉えた『Asian Design Encyclopedia』（仮称・英文）を企画し、その実現を助ける国際研究会を連続開催する。アジアの専門家が、各国のデザインの歴史と現状について分析と報告を行い、意見交換を通じて、エンサイクロペディアのありかたを検討する。研究報告書「アジアのデザイナー—伝統と革新—」（仮称）の執筆と編集の過程を通じて、共通の理解を形成するとともに、次世代の育成にもつなげる。

研究目的：

①背景：

アジアは世界の生産の拠点であり、最大規模の消費地でもある。アジアの生産と消費の動向は人類社会全体に大きな影響を及ぼす。しかし、デザインのリーダーシップを握っているのは非アジア、西洋文化圏であり、アジアの人々は、工業製品等のハード面でも、ネットワークなどのソフト面でも、そのデザインにおいては欧米に依存している。アジアは大量に生産し、消費しているが、その多くはアジアの外でデザインされたものである。

②必要性：

アジアには工芸などの専門技術や自然と調和した日常生活など、すぐれたデザインの伝統があるにもかかわらず、上記のような背景において、その良さを十分発揮できていない。アジアのデザインの歴史と現状についてアジアの人々が相互に理解し、非アジア人が認識を新たにすることは、人類社会全体にとって重要である。アジアのデザインについて、断片的ではなく、総合的な理解が必要である。そのために『Asian Design Encyclopedia』（仮称）をつくる必要性は高い。結果としてのエンサイクロペディアはもちろんのこと、その企画を進め、分担執筆し、編集する過程も、その理解の向上に貢献するだろう。この研究を通じて、デザインを、実務としてだけでなく、文化として考える、アジアの若い研究者の発掘や育成に努める。いま、建築を含めて、デザインの分野では研究の国際化が急速に進んでおり、アジアの若い世代が欧米の教育研究機関で活躍を始めている。そのような若手研究者も本プロジェクトとそれがサポートする『Asian Design Encyclopedia』の中心的メンバーに加えることによって、文化としてのデザイン研究の国境を越え、既存の領域を超える学問研究の「芽」とし、その研究を国際的に発信する日本国内やアジア圏内の「芽」の育成にも役立てる。また、日本とアジアは、世界的生産の拠点で

はあっても、情報発信の拠点ではありえていない。本プロジェクトでは、電子出版を含む、多くのデザイン関連出版企画を手掛けてきた海外のエディターを参加研究者に加えることによって、学術研究と情報発信とをつなぐ「芽」の育成を世界的視野において試みる。

③方針：

研究期間において、アジア各国・各地域のデザインの特性の研究と、世界の関連エンサイクロペディアの研究を平行して進め、『Asian Design Encyclopedia』の骨格を明らかにする。そのために、以下のような方針で研究を進める。

(1) 『Asian Design Encyclopedia』を英語で企画し、その実現を助ける研究会を英語で実施する。

(2) 上記の研究の経過と成果を『Asian Design Encyclopedia』に反映させる。

(3) 電子版『Asian Design Encyclopedia』の企画も同時に進める。

研究の総括として、研究報告書「Traditions and Innovations in Asian Design- Continuity and Discontinuity- (アジアのデザインー伝統と革新ー)」(仮称)を刊行する。同報告書は、それ自体の価値を持つと同時に、『Asian Design Encyclopedia』(仮称)実現への足固めとなる。

Objectives:

Asia is one of the most important centers of production and consumption in the world. Asia has its long and rich traditions of art, craft, and design, as well as unique cultures which are more harmonious with nature. Asian design is, however, properly understood neither by non-Asian nor by Asian people themselves. To improve this Asian/global situation, we are going to hold a series of international workshops in which specialists in design and its related fields analyze and discuss the history and present conditions of each Asian country, aiming at the publication of an Asian Design Encyclopedia in the near future. As a related product of this study group, a report provisionally entitled 'Traditions and Innovations in Asian Design – Continuity and Discontinuity' will be published in 2013. Through the process of workshops, writing and editorial works of the report, mutual understanding and the next generation of design study in Asia will be formed.

キーワード：アジア、デザイン、エンサイクロペディア、連続性、非連続性

Key Word: Asia, Design, Encyclopedia, Continuity, Discontinuity

参加研究者リスト： 15名 (◎研究代表者)

氏名	職名等
◎藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
片山 剛	大阪大学大学院文学研究科教授
北村 仁美	東京国立近代美術館工芸館工芸課研究員
金 相美	大阪学院大学非常勤講師
喜屋武盛也	沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学術研究科准教授 (2011年度より参加)
小林 茂	大阪大学大学院文学研究科教授
菅 靖子	津田塾大学学芸学部英文学科准教授
鈴木 禎宏	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科准教授
竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
出川 哲朗	大阪市立東洋陶磁美術館館長
畑 智子	京都文化博物館学芸課課長
樋田 豊郎	秋田公立美術工芸短期大学学長 (2011年度より参加)

Wendy Siuyi Wong, York University, Toronto, Associate Professor / Design Department Chair

Ken Tadashi Oshima, University of Washington, Associate Professor  
Tristan Palmer, Berg Publishers, Oxford, Editor

2010年度研究活動予定：(2011-12年度も概略決定)

①研究会開催予定

- 第1回：2010年11月 4日～11月6日 (於 高等研)  
第2回：2011年 1月20日～1月22日 (於 高等研)  
第3回：2011年 5月 (於 高等研)  
第4回：2011年 11月 (於 高等研)  
第5回：2012年 7月 (於 高等研)

②話題提供予定者：18名(予定)(国内3名、海外15名)

話題提供者としては以下の18名を候補とし、2010年度においては、そのなかから6名(海外5名)を予定している(追加変更される場合がある)。

- 杭 間・精華大学美術学院副院長・芸術史論学部教授 (研究期間内1回)  
(中国工芸・デザインの研究)
- 陳望衡・武漢大学・哲学系・教授 (研究期間内1回)  
(中国美学の研究)
- 林承緯・国立台北藝術大学伝統藝術研究所・助理教授 (研究期間内1回)  
(中国・台湾の民芸の研究)
- 龔詩文・元智大学芸術管理研究所・助理教授 (研究期間内1回)  
(中国古代美術の研究)
- 鄭夙恩・亜洲大学・助理教授 (研究期間内1回)  
(中国・台湾の美術制度の研究)
- 劉賢国・筑波技術大学産業技術学部総合デザイン学科・准教授 (研究期間内1回)  
(韓国のデザインとユニヴァーサルデザインの研究)
- 井口壽乃・埼玉大学大学院文化科学研究科・教授 (研究期間内1回)  
(視覚芸術と写真の研究)
- 橋本優子・宇都宮美術館・学芸員 (研究期間内1回)  
(日本の近代デザインの研究)
- M. P. Ranjan・National Institute of Design, India・Professor (研究期間内1回)  
(インドのデザインと工芸の研究)
- G. V. Soumitri・Royal Melbourne Institute of Technology・Associate Professor (研究期間内1回)  
(インドと中国の現代デザインの研究)
- Soranart Sinuraibhan・Khon Kaen University・Associate Professor (研究期間内1回)  
(タイのデザインと生活文化の研究)
- Narin Paranulaksa・Chulalongkorn University・Lecturer (研究期間内1回)  
(タイと東南アジアの伝統的建築の研究)
- Yandi Andri Yatmo・University of Indonesia・Associate Professor (研究期間内1回)  
(インドネシアの建築とデザインの研究)
- Sarah Teasley・Royal College of Art, London・Tutor (研究期間内1回)  
(アジアの産業デザインの研究)
- Nicole Coolidge Rousmaniere・SISJAC, Norwich・Director (研究期間内1回)  
(アジアの陶磁器を中心とした伝統工芸の研究)

Angus Locker・SOAS, University of London・Lecturer

(アジアを中心とした万国博覧会の研究)

(研究期間内 1 回)

Rupert Faulkner・Victoria & Albert Museum・Senior Curator

(日本とアジアを中心とした現代陶芸の研究)

(研究期間内 1 回)

Christine Guth・Victoria & Albert Museum・Tutor

(漆器を中心とした工芸とアジアのデザインの研究)

(研究期間内 1 回)

研究成果報告書の出版：

2013 年 12 月出版予定

担当：川北副所長

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」  
2010年度第1回研究会プログラム

開催日時：2010年 11月4日（木）10：00～17：30  
11月5日（金）10：00～16：30  
11月6日（土）10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授  
担当所長・副所長：

出席者：（10人）

研究代表者	藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	北村 仁美	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
（5人）	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	菅 靖子	津田塾大学学芸学部英文学科准教授
	竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長

学術道場生 森 功次 東京大学大学院文学社会系研究科博士課程3年  
（1人）

話題提供者	Jale Erzen	Middle East Technical University, Emeritus Professor
（ゲストスピーカー）	M P Ranjan	National Institute of Design, Professor
（3人）	Soumitri Varadarajan	Royal Melbourne Institute of Technology Associate Professor

プログラム

11月4日（木）

10：00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事前打ち合わせ

12：00 昼食

14：00 趣旨説明：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授

「アジアとは何か？アジア・デザイン・エンサイクロペディア概説」

14：30 質疑応答

15：00 休憩

15：30 話題提供者：Jale Erzen Middle East Technical University, Emeritus Professor

演題「Design in the Middle East and Central Asia」

16：30～17：30 討論「中東と中央アジアのデザイン」

11月5日(金)

10:00 話題提供者: M P Ranjan National Institute of Design, Emeritus Professor  
演題「南アジアと東南アジアのデザイン(1)」

11:00 質疑応答

12:00 昼食・総合討論

13:30 話題提供者: Soumitri Varadarajan Royal Melbourne Institute of Technology  
Associate Professor

演題「南アジアと東南アジアのデザイン(2)」

15:00~16:30 討論「南アジアと東南アジアのデザイン」

11月6日(土)

10:00~12:00 「アジア・デザイン・エンサイクロペディア」に関する意見交換

\* 今回の研究会はすべて英語で行われました。

国際高等研究所 研究プロジェクト  
「アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築」  
2010年度第2回研究会プログラム

開催日時：2011年 1月20日（木）10：00～17：30  
1月21日（金）10：00～16：30  
1月22日（土）10：00～12：00

開催場所：国際高等研究所セミナー1（1F）

研究代表者：藤田 治彦 大阪大学大学院文学研究科教授  
担当所長・副所長：天野 文雄 副所長

出席者：（10人）

研究代表者	** 藤田 治彦	大阪大学大学院文学研究科教授
参加研究者	北村 仁美	東京国立近代美術館工芸課主任研究員
（5名）	金 相美	大阪学院大学非常勤講師
	竹内 有子	大阪工業大学非常勤講師
	畑 智子	京都文化博物館学芸課長
	土田 耕督	大阪大学大学院文学研究科博士課程3年

学術道場生 森 功次 東京大学大学院文学社会系研究科博士課程3年  
（1名）

\*\*：スピーカー

話題提供者	Christine Guth	Victoria & Albert Museum, Tutor
（ゲストスピーカー）	Tristan Palmer	Berg Publishers, Oxford, Editor
（3人）	Wendy Siuyi Wong	York University, Toronto, Associate Professor Design Department Chair

プログラム

1月20日（木）

10：00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事前打ち合わせ

14：00 話題提供者：藤田 治彦

演題「第1回アジア・デザイン・エンサイクロペディア・ワークショップと

日本の部について」

14：30 質疑応答

15：00 休憩

15：30 話題提供者：Tristan Palmer

演題「Reading Berg Encyclopedia of World Dress and Fashion

for the Encyclopedia of Asian Design」

16：30～17：30 討論「デザインのエンサイクロペディア」

1月21日(金)

10:00 話題提供者: Wendy Siuyi Wong

演題「Design in China and the Encyclopedia of Asian Design」

11:00 討論「中国とその自治区・香港・マカオ・台湾のデザイン」

12:00 昼食・総合討論

13:30 話題提供者: 藤田治彦, Christine Guth, Wendy Siuyi Wong

演題「アジア・デザイン・エンサイクロペディアにおける

国境を越えたデザインの歴史と現在」

15:00~16:30 討論「国境を越えたアジアのデザインの歴史と現在」

1月22日(土)

10:00~12:00 研究代表者と話題提供者のみの研究会事後打ち合わせ

\* 今回の研究会はすべて英語で行われました。